

様式第 2 号の 1－② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	メディアクリエイティブ学科	夜・通信	360 時間	320 時間	
	漫画・イラスト科	夜・通信	360 時間	320 時間	
	総合デザイン科	夜・通信	270 時間	240 時間	
	ゲーム科	夜・通信	270 時間	240 時間	
	CG 科 CG アニメーションコース	夜・通信	270 時間	240 時間	
	CG 科 ゲーム CG コース	夜・通信	270 時間	240 時間	
	グラフィック科 イラストコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	グラフィック科 デザインコース	夜・通信	180 時間	160 時間	
	Web デザイン科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ミュージック科 ボーカリストプレイヤーコース	夜・通信	210 時間	160 時間	
	ミュージック科 DTM コース	夜・通信	210 時間	160 時間	
	ミュージック科 ビジネスコース	夜・通信	210 時間	160 時間	
(備考) ・メディアクリエイティブ学科は令和 5 年度新設（令和 8 年度完成）。 ・漫画・イラスト科は令和 7 年度新設（令和 10 年度完成）。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

教職員室での備え付け

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部事務所に備え付け

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業経営者	令和 7 年 5 月 29 日 ～ 令和 11 年度定時 評議員会終結時	法人運営に関する 助言と指導
非常勤	企業経営者	令和 7 年 5 月 29 日 ～ 令和 11 年度定時 評議員会終結時	法人運営に関する 助言と指導
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜デジタルアート専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画(単位ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目)	
授業計画書の公表方法	教職員室での備え付け
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点(課題評価点等)で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 (評価基準) ・4 段階評価の場合(100 点法) - A : 100～80 点 - B : 79～70 点 - C : 69～60 点 - D : 59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の総合評価に応じて下記 Grade Point (GP) を付与。授業時間数で Grade Point Average (GPA) を算出する。 対象科目 当該年度履修科目（但し、2段階評価は対象外） Grade Point (GP) A : 3.0 B : 2.0 C : 1.0 D(不合格) : 0 Grade Point Average (GPA) = (GP×履修科目の授業時間数)の全履修科目総和 ÷ 当該年度履修科目の総授業時間数 小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	教職員室での備え付け
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) デジタルコンテンツ制作に携わる人材育成という目標のために編成されたカリキュラムのもと、以下のような能力を身につけ、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。 ・2年間、3年間または4年間のカリキュラムの履修を通し、現場で必要とされる高度な技術と知識を身につける ・専門的な実習を通して、クリエイティブな現場で活躍するためのコミュニケーション能力を身につける ・学生生活における様々な経験を通して、豊かな人間性と課題解決力を身につける	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	教職員室での備え付け

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名	学校法人岩崎学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2025.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2025.html
財産目録	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2025.html
事業報告書	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2025.html
監事による監査報告（書）	https://www.iwasaki.ac.jp/financial_2025.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	メディア クリエイティブ学科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3600 単位時間／単位	450 単位時間 ／単位	4590 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			5040 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		90 人	0 人	3 人	11 人		14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度4月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（单元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B及びCを合格、Dを不合格とする。 （評価基準） ・4段階評価の場合(100点法)

A : 100～80 点 B : 79～70 点 C : 69～60 点 D : 59～0 点 ・ 2 段階評価の場合 認 : 合格 否 : 不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
(概要) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 令和 5 年度新設のため対象者なし。			
(就職指導内容) 就職指導担当教職員・担任による就職指導 (就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等) などを行っていく。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67 人	5 人	7.5%
(中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	漫画・イラスト科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	3600 単位時間／単位	345 単位時間 ／単位	4695 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			5040 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		76 人	0 人	3 人	3 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単位ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）	
成績評価の基準・方法	
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A： 100～80 点 - B： 79～70 点 - C： 69～60 点 - D： 59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。	
学修支援等	
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 令和 7 年度新設のため対象者なし。			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等） などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	総合デザイン学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2700 単位時間／単位	540 単位時間 ／単位	2430 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			2970 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		115 人	0 人	3 人	12 人		15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単位ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）	
成績評価の基準・方法	
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A： 100～80 点 - B： 79～70 点 - C： 69～60 点 - D： 59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。	
学修支援等	
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (88.9%)	4 人 (11.1%)
（主な就職、業界等） 広告業界、印刷業界、W e b 業界 グラフィックデザイナー、W e b デザイナー			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等） などを行っていく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定2級、3級、D T P 検定ビジネス W e b クリエイター能力認定試験スタンダード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121 人	6 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 体調不良、経済状況、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程		ゲーム科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3 年	昼	2700 単位時間／単位	855 単位時間 ／単位	2115 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位		
			2970 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
120 人		115 人	1 人	4 人		3 人		7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単位ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A： 100～80 点 - B： 79～70 点 - C： 69～60 点 - D： 59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
63 人 (100%)	0 人 (0%)	53 人 (84.1%)	10 人 (15.9%)
（主な就職、業界等） ゲーム業界、IT業界 プログラマ			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、ITパスポート試験、CGクリエイター検定ベーシック			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
157 人	4 人	2.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	C G 科 C G アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	360 単位時間 ／単位	2340 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2700 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人 の内数		80 人	0 人	5 人 の内数	8 人 の内数	13 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・ 4 段階評価の場合(100 点法) - A： 100～80 点 - B： 79～70 点 - C： 69～60 点 - D： 59～0 点 ・ 2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0%)	24 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 映像業界、ゲーム業界 C G デザイナー、モーションデザイナー			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） C G クリエイター検定エキスパート、ベーシック、色彩検定 2 級、3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	3 人	3.9%
（中途退学の主な理由） 病気、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	C G 科 ゲーム C G コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間／単位	360 単位時間 ／単位	2340 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2700 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人 の内数		118 人	0 人	5 人 の内数	8 人 の内数	13 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A：100～80 点 - B：79～70 点 - C：69～60 点 - D：59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52 人 (100%)	0 人 (0%)	49 人 (94.2%)	3 人 (5.8%)
（主な就職、業界等） 映像業界、ゲーム業界 C G デザイナー、モーションデザイナー			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） C G クリエイター検定エキスパート、ベーシック、色彩検定 2 級、3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
144 人	6 人	4.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	グラフィック科 イラストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	330 単位時間 ／単位	1470 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人 の内数		175 人	0 人	6 人 の内数	13 人 の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・ 4 段階評価の場合(100 点法) - A : 100～80 点 - B : 79～70 点 - C : 69～60 点 - D : 59～0 点 ・ 2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66 人 (100%)	1 人 (1.5%)	54 人 (81.8%)	11 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） 広告業界、印刷業界、ゲーム業界 グラフィックデザイナー、DTPオペレータ、ゲームグラフィッカー			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定2級、3級、DTP検定ビジネス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
171 人	4 人	2.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	グラフィック科 デザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	330 単位時間 ／単位	1470 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人 の内数		36 人	0 人	6 人 の内数	13 人 の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・ 4 段階評価の場合(100 点法) - A : 100～80 点 - B : 79～70 点 - C : 69～60 点 - D : 59～0 点 ・ 2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 広告業界、印刷業界 グラフィックデザイナー、DTPオペレータ			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定2級、3級、DTP検定ビジネス			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	5 人	11.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	W e bデザイン科		○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1800 単位時間／単位		330 単位時間 ／単位	1470 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				1 8 0 0 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		39 人	0 人		2 人		4 人		6 人

※令和 6 年 4 月 1 日に学則変更を実施。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・ 4 段階評価の場合(100 点法) - A : 100～80 点 - B : 79～70 点 - C : 69～60 点 - D : 59～0 点 ・ 2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	1 人 (4.8%)	19 人 (90.5%)	1 人 (4.8%)
（主な就職、業界等） W e b 業界 W e b デザイナー、W e b エンジニア			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） W e b デザイン技能検定、W e b クリエイター能力認定試験スタンダード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	1 人	2.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	ミュージック科 ボーカリストプレイヤーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	240 単位時間 ／単位	1740 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1 9 8 0 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人 の内数		15 人	0 人	2 人 の内数	17 人 の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A： 100～80 点 - B： 79～70 点 - C： 69～60 点 - D： 59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） P r o t o o l s 技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.7%
（中途退学の主な理由） 体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ミュージック科 D T Mコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	240 単位時間 /単位	1740 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人 の内数		53 人	0 人	2 人 の内数	17 人 の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A：100～80 点 - B：79～70 点 - C：69～60 点 - D：59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。

学修支援等
(概要) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	1 人 (4.8%)	17 人 (81.0%)	3 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 音楽業界、ミュージシャン			
(就職指導内容) 就職指導担当教職員・担任による就職指導 (就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等)			
(主な学修成果（資格・検定等）) P r o t o o l s 技術認定試験、M I D I 検定 3 級、ビジネス著作権検定初級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	6 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ミュージック科 ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	240 単位時間 ／単位	1560 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1 8 0 0 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人 の内数		9 人	0 人	2 人 の内数	17 人 の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 前年度に当該年度の学科毎の教育計画(学科グランドシラバス)を策定し、教育課程編成委員会で検討。その結果を反映させた学科グランドシラバスに基づき、科目毎に下記内容で構成されたシラバスを前年度末までに作成。当該年度 4 月に公開。 ・科目名、授業方法、授業時間数 ・担当講師名(実務経験のある教員が担当する場合はプロフィール) ・科目概要、目標、教科書・教材、参考書 ・目標資格 ・履修上の注意 ・成績評価方法 ・年間授業計画（単元ごとの授業内容、課題内容、学習評価項目）
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記した評価基準にて、定期試験(前期・後期)評価点、平常点（課題評価点等）で総合評価点を算出する。A、B 及び C を合格、D を不合格とする。 （評価基準） ・4 段階評価の場合(100 点法) - A：100～80 点 - B：79～70 点 - C：69～60 点 - D：59～0 点 ・2 段階評価の場合 - 認：合格 - 否：不合格 ※両評価方法ともに授業実施予定回数のうち、4 分の 1 を超える欠席をした場合は、無条件に不合格となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年の教育課程修了は、平素の成績、試験等により認定で行い、全教育課程を修了した者を卒業と認定する。

学修支援等
(概要) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職指導担当教職員・担任による就職指導 （就職説明会、希望調査、適正検査、面談、学内企業説明会、 コミュニケーション講座、模擬面接、筆記試験対策等）			
(主な学修成果（資格・検定等）) P r o t o o l s 技術認定試験、M I D I 検定 3 級、ビジネス著作権検定初級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	3 人	42.9%
(中途退学の主な理由) 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング、補講、学費分割納入制度		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
メディアクリエイティブ学科	200,000 円	581,000 円	415,000 円	その他： 維持費、実験実習費、 施設費、学生諸費
漫画・イラスト科	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
総合デザイン科	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
ゲーム科	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
C G 科 CG アニメーションコース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
C G 科 ゲーム CG コース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
グラフィック科 イラストコース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
グラフィック科 デザインコース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
W e b デザイン科	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
ミュージック科 ボーカリストプレイヤーコース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
ミュージック科 D T M コース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
ミュージック科 ビジネスコース	200,000 円	581,000 円	415,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
岩崎学園奨学生制度、岩崎学園震災特別対応基金制度、特待生制度、等 日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者に対して、入学金は入学意思の確認のため一旦納入をお願いしつつ、希望者には授業料等の学費については入学後に授業料等減免額を減じた金額の分割納入を認めている。その他、個々の学生の状況・希望に応じた柔軟な対応を実施している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） U R L : https://yda.iwasaki.ac.jp/admissions/disclosure/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校目的を達成するための目標設定や具体的計画について、達成状況や取り組みの適切さを自己評価として行い、その結果について、本校に定める学校評議委員会が評価を行う。その目的は、学校評価の精度を上げ、客観性を高めるためのものであり、企業、地域代表、卒業生の意見を積極的に汲み取り反映させる。そのため、学校関係者評価委員会を組織し、学校の活動内容を各委員に周知するとともに、意見交換を行う機会を設ける。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県立神奈川総合産業高等学校	令和7年4月1日 ～令和9年3月31日	校長
横須賀商工会議所	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	企業等委員
株式会社高陽印刷所	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	企業等委員・卒業生
株式会社ブルーム	令和7年4月1日 ～令和9年3月31日	企業等委員
株式会社フジパシフィックミュージック	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://yda.iwasaki.ac.jp/admissions/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yda.iwasaki.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H114310000429
学校名（〇〇大学 等）	横浜デジタルアーツ専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人岩崎学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		128人（ 17 ）人	127人（ 19 ）人	133人（ 19 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	81人	77人	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅱ区分	25人	25人	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅲ区分	18人	19人	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				133人（ 19 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	—	0人	—
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	—	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
----	----

3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	11人	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	—	0人
計	11人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。